

# 予防接種について 《水痘》

## 水痘(水ぼうそう)とは？

水痘・帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる急性の感染症です。

空気感染、飛沫感染、接触感染によって感染し、最も感染力の強い感染症のひとつです。その潜伏期は感染から2週間程度（10～21日）です。特徴的な発疹が主な症状で、かゆみを伴います。発熱を伴うこともあります。発疹は、最初は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治ります。発疹はお腹や背中、顔などに多い傾向がありますが、頭部など髪の毛に覆われた部分にも現れます。まれに脳炎や肺炎、肝機能の異常を伴うことがあります。また、皮膚から細菌が感染して化膿したりすりこことはまれではなく、敗血症などの重症の細菌感染症を合併することもあります。ハイリスク患者（急性白血病などの悪性腫瘍の患者さんや、治療によって免疫機能が低下している人及びそのおそれのある人）では特に重症となります。

## 水痘(水ぼうそう)ワクチン

水痘・帯状疱疹ウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。

このワクチンを受けた者のうち、約20%は、後に水痘にかかることがあります。もしかかっても軽くすむといわれています。

**生後12か月～36か月(3歳の誕生日の前日)までに、3か月以上の間隔をあけて2回接種**します。

標準的には生後12か月～生後15か月に至るまでに1回目の接種を行い、1回目の接種後3か月以上（標準として6か月～12か月まで）の間隔をおいて2回目の接種を行います。

**\* 水痘にかかったことのあるお子さんは、定期予防接種の対象とはなりません。**

## 水痘(水ぼうそう)ワクチンの副反応

一定の頻度で認められるものとして、発熱、発疹、局所の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）がみられます。まれに報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様症状、急性血小板減少性紫斑病等があります。